

# 川本 三郎

(評論家)

- ① 周五郎伝——虚空巡礼  
齋藤慎爾著 (白水社・3570円)
- ② 藤沢周平伝  
笹沢信著 (白水社・3150円)
- ③ 木琴デイズ——平岡養一「天衣無縫の音楽人生」  
通崎睦美著 (講談社・1995円)

伝記の要諦は、その人物の負の部分を描しながら、なおかつ業績に敬意を払うことにある。それに加え、作家の場合、作品論と人物評伝の両方が必要になる。

『周五郎伝』は、広く愛されている山本周五郎について書かれたはじめてと云っていい本格的評伝として素晴らしい力作。

周五郎の作品と生涯を資料を駆使し丁寧に述べている。文章は思いがこもっていて熱い。周五郎への愛情が伝わってくる。

『藤沢周平伝』は、山形県に育った著者が、同県出身の藤沢周平を語る。山形は他に丸谷才一、井上ひさしらを生んでいるが、文学にとって風土がいかに大事かがわかる。ちなみに齋藤慎爾氏も山形県育ち。

木琴とマリンバの奏者である著者による『木琴デイズ』は、木琴というマイナーな楽器の第一人者だった平岡養一の生涯を手間暇を惜しまず描き出した大変な力作。